

切実な声を市政に届けるために！

丸亀市に暮らしておられる皆様、いつも大変お世話になっております。5月31日に行われましたチャレンジデー。神奈川県秦野市様と対戦させて頂き、おかげさまで丸亀市が勝利致しました。ご協力頂きました皆様、応援して頂きました皆様ありがとうございました。嬉しいです！



道具も準備してくれています。みんなで街をきれいにしましょう。

おかげさまで、ますます丸亀市がキレイになりました。余談ですが、「割れ窓理論」というものがあります。住んでいる地域をキレイに保つことで犯罪の起きにくい地域づくりが期待できるそうです。毎月第四土曜日10時～11時までマルタス集合で「ひろえば街が好きになる運動」を行っておりますので、興味がある方は是非ともお力を貸してください。よろしくお願いいたします。

5月27日「ひろえば街が好きになる運動」集まって頂いた、小さな子どもさんから大人の方まで、多くのお仲間の皆様と共に「ゴミ拾いを行ってまいりました。

ひろえば街が好きになる運動

丸亀城石垣復旧現場の見学に行ってみました。復旧は徐々に進んでおります。工事関係者の皆様、作業を進めて頂きありがとうございます。その後、石垣復旧PR館にも立ち寄りさせて頂きました。「石垣つめるくん」という石を積み上げていく体験ゲームをしたり、一ツカリ青江に見立てた刀でお化けを切るバーチャルゲームをしたり、石垣の模型を持ち上げて写真を撮らせて頂きました。皆様も、是非石垣PR館にお立ち寄りください。とても楽しいです。



丸亀城石垣復旧現場の見学

6月定例会での一般質問（裏面参照）

- ① 周産期グリーンワークについて
- ② 農地の維持について

すみの仁美は今議会でもしっかりと発言しました

すみの仁美の
2023年7月発行
発行人：すみの仁美 丸亀市土器町東1丁目38-11
元気印

丸亀市6月定例議会、すみの仁美の一般質問

「周産期グリーンケアとは、流産・死産といった周産期で子どもを亡くされた母親・家族の悲嘆過程に寄り添うケアであり、様々な喪失を体験し、グリーフ（深い悲しみ）を抱えた方々に心を寄せて寄り添い、ありのままに受け入れて、その方々が立ち直り、自立し、希望を持つことができるように支援することです。」

問 周産期グリーンケアに対する相談支援体制、窓口、情報提供、厚生労働省からの事業活用有無について丸亀市ではどのようになっているのか。

健康福祉部長 現在本市では、保健師による産後ケア事業や産婦健康診断事業において、流産・死産を経験された方も対象に含めて直接的な相談支援や情報提供など個別の対応を行っているところですが、今後は、県や医療機関との連携強化を図り、支援を必要とされている方に必要な情報が届くよう、きめ細やかな情報提供に努めるとともに、相談体制の拡充について働きかけていくことについて検討してまいりますと存じます。

問 周産期グリーンケアに対する保健師による訪問相談について、丸亀市ではどのように対応しているのか。

健康福祉部長 当事者は、心だけでなく、産後の体の悩みも相談できない場合や、外出困難となっていることもあるため、希望者への保健師による訪問相談は、これまでも行っているところですが、丸亀市健康課にご相談いただければと存じます。今後切れ目のない支援に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

問 丸亀市の農地は毎年どれくらい面積が減っているのか、直近3年分お知らせください。

産業文化部長 令和2年度に24ha、令和3年度に20.6ha、令和4年度に39.5ha、3年間で合わせて84.2haの農地が、住宅建設用地や工場・店舗などの事業用地として転用され減少しております。

問 現役の農家の方に農業を続けて頂ける後押しをするため、新規就農や再び農業を開始する方を増やしていけるような手厚い支援を望みます。市のお考えはいかがか。

市長 本市では「米麦生産振興総合対策事業補助金」「園芸特産物生産振興総合対策事業補助金」等、総合的な支援を行ってまいりました。更には、地方創生臨時交付金を活用し、「主食用米生産臨時支援事業」、肥料及び燃油価格高騰対策としての臨時的支援を行うなど、営農を継続できるよう併せて支援してきたところでございます。

本年度より、「有機JAS認証新規取得費補助金」「環境にやさしい農業推進事業補助金」を創設しました。新規就農者や農業再開者への支援策につきましては、本市が行う各種施策へと誘導し、就農や農業再開の際のハードルを下げることに、農業従事者の増加に繋げてまいりたいと考えております。農業者の皆様によりそった手厚い支援策について、臨機応変に対応してまいりたいと考えております。

